

横浜山手西洋館

エリスマン邸移築30周年記念イベント

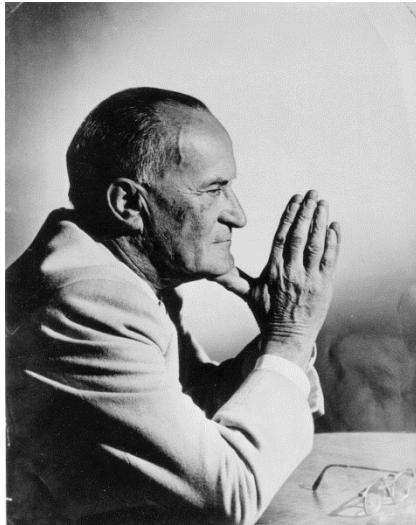
エリスマン邸の軌跡

令和3年2月20日(土)



今年度はエリスマン邸が、山手127番地からこの元町公園内に移築復元し、丁度30年という節目の年になります。

エリスマン邸を設計したのは日本の近代建築の父と言われているアントニン・レーモンドです。彼が来日してから101年、レーモンドの名を継承する(株)レーモンド設計事務所からは日本を代表する建築家や建築物を数多く輩出し、今なお多彩な建築物を生み出しています。



この記念すべき年にあたり、(株)レーモンド設計事務所の代表取締役である建築家 三浦敏伸氏をお招きし、アントニン・レーモンドについての物語をうかがいます。

講演会のあとには、学生時代よりこの移築後のエリスマン邸でピアノ演奏活動をしている渡辺まこみさんのピアノ演奏もお楽しみください。

第1部 講演会 14:00~15:20 (開場 13:30~)

テーマ 建築家「アントニン・レーモンド」が日本に遺したもの

建築家 三浦 敏伸

(株)レーモンド設計事務所 代表取締役)

第2部 ピアノ演奏 15:30~16:00

渡辺 まこみ

参加費 : 2,000円

定員 : 先着18名 (事前申込制)

申込受付 : 1/20 (水) 10時~

電話または直接来館にて

申込先 : 横浜市中区元町1-77-7

エリスマン邸

045-211-1101

※入館時にはマスクの着用と手指の消毒、申告書のご記入をお願いいたします。

受付時に検温いたします。

新型コロナウイルス感染拡大予防のためやむを得ず中止、または掲載した内容に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

建築家

アントニン・レーモンド

チェコ出身（1888－1976）

1919年（大正8年）旧帝国ホテル

設計の為にF.L.ライトと共に来日。

欧米の建築と日本建築の伝統を融合させた多くの優れた建築を設計。

前川國男、吉村順三等の日本の優れた建築家を育てた「近代建築の父」と言われている。

講演者

プロフィール



三浦 敏伸（みうら としのぶ）

一級建築士。レーモンド設計事務所代表取締役。多くの作品を生み出している。日本大学工学部と大学院工学研究科講師。

1966年、日本大学工学部建築学科卒業。1967年からレーモンド設計事務所に入社。1975年、富士ヘルスカントリークラブで中部建築賞、1980年、第百生命富山ビルで富山県建築賞、1999年、茨城県立水戸高等養護学校で茨城県建築文化賞最優秀賞、2004年、茨城県あすなろの郷で茨城県建築文化賞最優秀賞、2004年、福島県塙道の駅で塙町優良木造建築賞を受賞している。

代表作に茨城県総合教育研修センター、全日本教職員組合会館、取手市立取手小学校、茨城県つくば養護学校、鳥取県大山町庁舎、広島女学院中・高校、北里研究所メディカルセンター病院、守谷市立守谷小学校などがある。

ピアノ演奏者

プロフィール



渡辺まこみ（わたなべ まこみ）

フェリス女学院大学大学院、音楽研究科修士課程修了。

研究テーマは「スクリヤービンのピアノ作品における初期から中期への変遷」。

数々のコンクールに多数入賞、入選。横浜を拠点に様々な楽器とのコンサートを数多く行っている。

2015年、「ピアノ協奏曲第2番/ラフマニノフ」をオーケストラと共に演。

横浜山手西洋館エリスマン邸、ベーリック・ホールにてピアノ維持ボランティア。